

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

京都府

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

| | 担当課名 | 主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載 | 人数 | | | | 計 | |
|-----------------------|--------|---------------------------|--------|-----|-----------|-----|---|------------------|
| | | | 事務職 | 保健師 | リハ 専門職 | その他 | | |
| 介護 予防 事業 | 高齢者支援課 | 市町村主体事業の地域支援事業交付金を所管 | 1 ◎ | | | | 1 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| モ デ ル 事 業 | 高齢者支援課 | 京都府が進める京都式介護予防事業を所管 | 1 ◎ | | | | 1 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

| | (連携先の例) | 実施内容 | 課題 | 次年度への対応 |
|----------|---------------------------------------|------|----|---------|
| 庁内 連携 | ・介護予防主担当課以外の課、保健所 ・その他 | なし | | 未定 |
| 職種 連携 | ・事務職、保健師、リハ職 ・その他 | | | |
| その他 | ・地域リハビリテーション広域支援センター ・職能団体 ・その他 | | | |

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

・介護予防事業の拡がりを図り、参加者の増大を目指す。引きこもりなど参加に消極的な層の参加促進。体操教室などの通いの場への参加が困難な方が、効果が検証された 自宅実施型のプログラムを容易に活用でき、フォローを受けられる体制を構築するなど支援に努めます。
・移送サービスの充実など、交通機関利用が困難な高齢者が必要な場所や時間に移動ができ活発な活動に繋がるよう体制の構築を支援します。

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|--------------|---|--|--|-----|-----------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 地域診断、戦略策定の支援 | すでに、住民主体の通いの場があるため、実施せず | | 新たにモデル市町村となるところの地域事業に 応じて実施予定 | | |
| 研修会、現地支援 | すでに住民主体の通いの場が立ち上げられているため、研修会は実施していない。 現地支援については、日程調整の関係で、2月末に実施。住民主体の通い場のリーダーが各取組実績を発表する場で、百歳体操を紹介し、体操の導入について検討いただく。 | 住民の通いの場がマンネリ化しているため、多様なメニューをいかに住民に取り込んでもらえるかが課題と新規の参加者が参加できるアプローチが必要 | <ul style="list-style-type: none"> 研修会については実施は未定 モデル市町村を希望の1町に対し、現地支援を実施予定 | | |
| その他 | - | | | | |

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

| 実施日 | 研修会名称 | 対象者 | 参加市町村数 |
|-----|-------|-----|--------|
| | 未実施 | | |
| | | | |
| | | | |

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|--|------------|-------|----------|-----|-----------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| | なし | | なし | | |

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> モデル事業の内容を良く理解せずに参加したため、モデル市町村の選定が遅れ、現地支援の時期も遅くなった。 京都府では前期高齢者(団塊世代)向けの介護予防体操の普及を図っているが、このモデル事業が後期高齢者向けの介護予防体操の普及に力点をおいていることを、このモデル事業のアドバイザー合同会議に参加して初めて知ったので、進め方で悩んだ。 |
|--|

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

大阪府

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

| | 担当課名 | 主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載 | 人数 | | | | 計 | |
|-----------------------|-------|---------------------------|--------|-----|-----------|-----|---|------------------|
| | | | 事務職 | 保健師 | リハ 専門職 | その他 | | |
| 介護 予防 事業 | 介護支援課 | | 2 ◎ | | | | 2 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| モ デ ル 事 業 | 介護支援課 | | 2 ◎ | | | | 2 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

| | (連携先の例) | 実施内容 | 課題 | 次年度への対応 |
|----------|--|---|---|---|
| 庁内 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 | 3月末に実施の事業報告会について、府保健所へ参加案内予定 | 連携の可能性が不透明 | 引き続き研修等の機会を活用し情報提供を行っていく |
| 職種 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 | なし | 今後も同様の実施体制により事業に取り組んでいくことと考えられる | 今年度に準ずる体制で事業実施予定 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 | 職能団体に対して、研修等の機会を通じて、「地域づくりによる介護予防」における専門職の役割等について情報提供を行った | <ul style="list-style-type: none"> 地域リハ、生活リハ等に関する知識・経験を有するリハビリテーション専門職が不足している 派遣等を依頼する際の手順等が未整理 | <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「地域づくりによる介護予防」におけるリハビリテーション専門職の役割、期待されること等に関する情報提供を行っていく |

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

○ 新しい総合事業に位置づけられる「一般介護予防事業」では、介護が必要な状態になることを防ぐ必要のある方にとどまらず、元気高齢者も参加する住民運営の通いの場の充実が予定されています。
府としては、市町村に対し、新しい介護予防事業の考え方や取組みの好事例などの情報提供を行うことにより、介護予防事業の再構築を促します。
○ 再構築に際しては、リハビリテーション専門職の活用が有用であることから、「地域づくりによる介護予防推進支援事業」（平成27年度）などの取組みを進めるとともに、リハビリテーション専門職等の活用等を促進するなど、市町村の円滑な事業実施を支援します。

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|--------------|--|---|---|-----|--|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 地域診断、戦略策定の支援 | ワークシートを用いて、戦略会議、メール等により地域診断、戦略策定に関する助言等をアドバイザーを中心に行った。また、密着アドバイザーにより、モデル市町村を訪問するなど個別支援を行った。 | 地域診断、戦略策定と段階を踏んで事業を進めていくことが、本事業の成功に不可欠であるという認識を、モデル事業参加市町村と共有したうえで事業を進めていくことができるよう、意識的に働きかけていくことが重要 | モデル事業参加希望市町村に対して、既存事業の整理、実施体制を含めた地域診断、戦略策定の重要性を周知するとともに、それらを踏まえた事業実施スケジュールに基づき、ワークシートも活用しながら、市町村における事業推進を支援していく | ◎ | 従来の取組の評価、現状分析、課題整理等を踏まえた戦略策定の重要性について、事業の進行とともに理解が深まっていくことを期待 |
| 研修会、現地支援 | 「地域づくりによる介護予防」についての研修会を実施（府内全市町村対象）。またモデル両市において、関係者を対象とした説明会（研修会）を実施した。 | 適切なタイミングで適切な支援を行えるよう、事前にしっかりと計画を立てておく。また、実施に当たっては、市町村における事業の進捗状況等も踏まえて、柔軟に対応できるような体制をとっておく。 | 研修会形式で「住民運営の通いの場」の立ち上げに係る住民への啓発、プレゼンテーションの方法など、具体的な手法の学習会を実施予定 | ◎ | 住民への働きかけを開始するまでに、市町村内でのコンセンサスの形成、実施体制の確保（または確保の方向性）ができるよう、市町村へ働きかけを行っていく |
| その他 | 事業を進めていくうえでの相談等については、メール等を活用し、アドバイザー及び府により随時対応した。また、支援の方向性などについて、府とアドバイザーによる打ち合わせを随時実施し、円滑な事業実施に向けた支援を行った。 | きめ細やかな支援を行えた一方、相当な時間を要した。今後、事業の拡充に向けては、効率的かつ効果的な支援方法及び実施体制を検討していく必要がある。 | 事業を進めていくうえでの相談等については、メール等を活用し、アドバイザー及び府により、随時対応していく。また、広域アドバイザーと密着アドバイザーの役割分担を明確にし、適切な支援を行っていく。 | ○ | 個別支援が必要な際の支援の実施体制及び方法をどうするか。 |

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

| 実施日 | 研修会名称 | 対象者 | 参加市町村数 |
|------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------|
| 平成26年9月10日 | 平成26年度大阪府介護予防担当者研修会 | 府内市町村介護予防事業担当者、地域包括支援センター、 | 43 |
| 平成27年3月24日 | 「地域づくりによる介護予防推進支援事業報告会（介護予防担当者研修会）」 | 府内市町村介護予防事業担当者、府保健所職員、PT/ST/OT協会（予定） | 43（予定） |

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|----|---|---|---|-----|--|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 研修 | 上記②-1のとおり | 市町村が主体的に実施する事業に対して、いかに支援を行っていくか | モデル事業での研修や戦略会議等の傍聴の機会などを作り、モデル事業に参加しない市町村に対しても、地域づくりによる介護予防推進にあたっての考え方、留意事項、具体的手法等の情報提供を行っていく | ○ | 市町村毎の理解度のばらつき |
| 視察 | ・島本町への視察 対象：次年度「いきいき百歳体操」に取組を予定している市町村（6市町村） | 視察の希望は多くあるが、受け入れ態勢の問題もあり、すべての希望を実現することは困難 | モデル事業での研修や戦略会議等の傍聴の機会などを作り、モデル事業に参加しない市町村に対しても、地域づくりによる介護予防推進にあたっての考え方、留意事項、具体的手法等の情報提供を行っていく | ○ | 引き続き視察を希望する市町村への対応（研修会の傍聴により対応予定※個別対応はなしの予定） |

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

市町村への支援を通じて、府担当者自身が「地域づくりによる介護予防」について理解を深めることができ、今後新しい総合事業に向けた市町村支援を行っていくうえで大変有意義な知見を得ることができました。「地域づくりによる介護予防」の意義は、地域の中に住民運営の通いの場を仕掛けていくことはもちろんですが、その過程において「市町村自身が自分で考える」点に実は大きな意義があるのではないかと感じています。「事業」は目的ではなく手段であるということを肝に銘じながら、都道府県としての役割を果たしていきたいと思います。

行政において「お金を出す」「手を出す」ことこそがまるで仕事であるような考え方が根深く存在する中、これまでと180度考え方が違う「地域づくりによる介護予防」のコンセプトを理解することは、行政の担当者にとっては容易なことではないと痛感しました。一方、取組を通して、自分自身の考えや、市町村の担当者の意識が少しずつ変わっていくのを感じたとき、やればできるのだとも思いました。それは住民も同じで、行政の側が意識を変え、働きかけ方を変えることで、「住民自身が運営する通いの場」が実現することを実感できたことは、大きな収穫でした。

今年の経験を活かして、市町村支援を行っていきたいと思います。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

兵庫県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制

介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。主担当課は最上段にご記入ください。

| | 担当課名 | 主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載 | 人数 | | | | 計 | |
|-----------------------|-------|---------------------------|--------|-----|-----------|-----|---|------------------|
| | | | 事務職 | 保健師 | リハ 専門職 | その他 | | |
| 介護 予防 事業 | 高齢対策課 | 地域支援事業の交付金事務以外 | 1 ◎ | 1 | | | 2 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | 介護保険課 | 地域支援事業の交付金事務 | 1 | | | 1 | | |
| | | | | | | 0 | | |
| モ デ ル 事 業 | 高齢対策課 | | 1 ◎ | 1 | | | 2 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | | | | 0 | | |
| | | | | | | 0 | | |

②連携体制

モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

| | (連携先の例) | 実施内容 | 課題 | 次年度への対応 |
|----------|--|---|---|------------------------------------|
| 庁内 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 | 健康福祉事務所（保健所）に対し、市町職員対象の研修に参加してもらい、管内市町に対する広域的・技術的支援を依頼している。 | 市町が保健所にどのような支援を期待するかが不明確 | 未定 |
| 職種 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 | 職能団体等が出席する介護予防推進会議において、モデル事業の概要等を説明し、協力を依頼している。 | 職能団体等の協力を得るには、市町が「地域リハビリテーション活動支援事業」を実施し、協力者に対する報酬等を予算計上することが必要である。 | 市町に対し、「地域リハビリテーション活動支援事業」の普及啓発を行う。 |

③第6期介護保険事業支援計画

第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

○ 平成26年度のモデル事業の成果を含め、「住民主体の介護予防の手引き」を作成して全市町へ配付するとともに、住民主体の介護予防の推進に向け、市町や地域包括支援センターの職員向けの研修を開催します。
○ リハビリテーション専門職等に向けた新しい介護予防に係る研修を実施するとともに、住民運営の健康教室や通いの場等へリハビリテーション専門職等の派遣や健康スポーツ医の活用等、市町が地域支援事業で新たに取り組む地域リハビリテーション活動支援事業を促進します。

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|--------------|---------------------------------------|-------|----------|-----|-----------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 地域診断、戦略策定の支援 | | | | | |
| 研修会、現地支援 | モデル市町同士の情報交換、モデル市町が感じている課題に対するアドバイス 等 | 特になし | | | |
| その他 | | | | | |

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

| 実施日 | 研修会名称 | 対象者 | 参加市町村数 |
|-------|---------------------|---------------------|--------|
| 7月25日 | 平成26年度 市町介護予防担当者等研修 | 市町職員・地域包括支援センター職員 等 | 33 |
| | | | |
| | | | |

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|---------------------|------------|----------|-------------|-----|-----------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 住民主体の介護予防の手引きの作成・配布 | 内容の検討 | 関係団体との調整 | 内容の検討・作成・配布 | | 関係団体との調整 |

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

市町職員（アドバイザー）が他市町職員を支援するというスキームができた。

平成26年度地域づくりによる介護予防推進支援モデル事業
報告シート

和歌山県

I モデル事業の実施状況

1. 実施体制

①実施体制
介護予防事業及びモデル事業それぞれについて、実施体制をご記入ください。※アドバイザーは計上しないでください。
主担当課は最上段にご記入ください。

| | 担当課名 | 主な役割分担 ※複数課にまたがる場合のみ記載 | 人数 | | | | 計 | |
|-----------------------|----------------|---------------------------|-----|-----|-----------|-----|---|------------------|
| | | | 事務職 | 保健師 | リハ 専門職 | その他 | | |
| 介護 予防 事業 | 長寿社会課 高齢者生活支援室 | | 1 | 1 | | | 2 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | ◎ | | | | 0 | |
| | | | | | | | 0 | |
| | | | | | | | 0 | |
| モ デ ル 事 業 | 長寿社会課 高齢者生活支援室 | | 1 | | | | 1 | ←主担当に◎を選択してください。 |
| | | | ◎ | | | | 0 | |
| | | | | | | | 0 | |
| | | | | | | | 0 | |

②連携体制
モデル事業に関する庁内及び職種間等の連携について、実施内容や課題、次年度への対応についてご記入ください。

| | (連携先の例) | 実施内容 | 課題 | 次年度への対応 |
|----------|--|------|----|----------------|
| 庁内 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防主担当課以外の課、保健所 その他 | | | 保健所との連携が必要と感じた |
| 職種 連携 | <ul style="list-style-type: none"> 事務職、保健師、リハ職 その他 | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 地域リハビリテーション広域支援センター 職能団体 その他 | | | |

③第6期介護保険事業支援計画
第6期介護保険事業支援計画において、介護予防の推進及び日常生活を支援する体制の整備等に関して記載した内容についてご記入ください。

高齢者が、できる限り住み慣れた地域でその人らしく自立した生活を送れるよう、研究機関との連携により開発した介護予防プログラムの普及促進に取り組み、市町村が実施する健康づくりや介護予防の取り組みを支援する。

2. 市町村支援の実施状況

①モデル市町村への支援

モデル事業で実施した内容についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|--------------|--|--|--|-----|------------------------------------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| 地域診断、戦略策定の支援 | 担当者会議で、各モデル各町が行っている地域診断や戦略策定について報告を行った。 | 県担当として、戦略策定について助言ができなかった。適切な助言が必要と感じている。 | モデル事業をおこなっている地区でも、地域診断を再度行い、今後も継続した事業ができるよう戦略策定を考える。 | ○ | 教室運営は、住民が自主的に行っていても定期的に繋がりを持つ工夫が必要 |
| 研修会、現地支援 | *先進地現地調査（草津市） H26.7.28 *現地支援（紀美野町） H26.12.4 | | 現地支援がきっかけで、モデル町同士（紀美野町、有田川町の住民）が仲良くなり4月に交流会を実施予定 | ◎ | 住民同士の口コミが大切 |
| その他 | 担当者会議を開催し情報共有を図った。 | | 今後も、担当者会議やMAIL等で情報共有を図りたい。 | ○ | 情報だけでなく、戦略策定の助言等も行えるようスキルアップが必要 |

②モデル市町村以外も含めた管内全市町村への支援

②-1 研修会の開催状況

平成26年度中に行った（実施予定も含む）市町村介護予防担当者向け研修会についてご記入ください。

| 実施日 | 研修会名称 | 対象者 | 参加市町村数 |
|---------------|----------------------------|-----------------------------------|--------|
| H26.6.24 他 | 運動器の機能向上新規指導者研修会、フローアップ研修会 | 地域支援事業で実施する高齢者向け運動教室の指導スタッフ、市町村職員 | 25 |
| H26.12.12 | 高齢者運動器疾患要望対策事業市町村担当者会議 | 市町村職員、地域包括支援センター職員 | 14 |

②-2 管内全市町村への支援内容

平成26年度中に市町村介護予防担当者に対して行った（実施予定も含む）実施内容（実施項目、事業名等）についてご記入ください。

| | 平成26年度実施内容 | | 平成27年度以降 | | |
|----------|------------------------|-------|--------------|-----|---------------------|
| | 実施内容 | 今後の課題 | 今後の実施予定 | 優先度 | 実施する上での課題 |
| H26.6.24 | 運動器の機能向上新規指導者研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 自主グループで運営できるよう工夫が課題 |
| H26.7.1 | 運動器の機能向上新規指導者研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |
| H26.7.8 | 運動器の機能向上新規指導者フローアップ研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |
| H26.8.5 | 運動器の機能向上新規指導者フローアップ研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |
| H26.8.7 | 運動器の機能向上新規指導者フローアップ研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |
| H26.8.8 | 運動器の機能向上新規指導者フローアップ研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |
| H26.8.21 | 運動器の機能向上新規指導者フローアップ研修会 | | H26年度と同様実施予定 | ◎ | 同上 |

3. モデル事業を行った成果・感想

モデル事業を行った成果・感想について自由にご記入ください。

*住民主体。住民の力を信じて待つ。住民の自己決定を大切にする。の考え方は判るのですが、いままで行政主導で各教室を運営していたのでとても不安で広域ADから、「住民の人は自然に役割分担ができ自主運営をするようになってきます。」との助言を受けていても半信半疑でした。

通いの場を開始し始め1ヶ月経過後、さりげなく教室の様子を見に行くとみんなで自主的に教室運営をしていました。との報告を聞いてほっとしました。

住民方の感想は、「この場に来たい。みんなの顔を見るのが楽しみ。」等、通いの場になっています。教室を欠席している人に「今日お休みだけど、どうしたの？」など電話をかけるなど住民同士の繋がりもできています。

*住民説明会で、最初から、「本教室運営は住民主体です。でもなにか困ったことがあれば何でも町に話して下さい。」等伝えているので教室に参加する人たちは「私達でやらなければ」の気持ちが出来てきたと思う。体操のDVDを流すため、デッキなど機器類を住民と一緒に探したことも住民と行政との距離が狭まったと思う。

*教室の途中加入について、サイボウズで、皆さんに相談ができ私たちもこのモデル事業に参加している方々との一体感があり安心できました。

*住民の力を信じて良い成果がでています。行政のPRも大切ですが住民同士の口コミが大切と言う事も痛感しました。